

座標平面上で  $y = (\log x)^2 (x > 0)$  の表す曲線を  $C$  とし,  $\alpha > 0$  に対し, 点  $(\alpha, (\log \alpha)^2)$  における  $C$  の接線を  $L(\alpha)$  で表す.

1.  $C$  のグラフの概形を掛け.
2.  $C$  と  $L(\alpha)$  との共有点の個数を  $n(\alpha)$  とする.  $n(\alpha)$  を求めよ.
3.  $0 < \alpha < 1$  とし,  $C$  と  $L(\alpha)$  および  $x$  軸とで囲まれる領域の面積を  $S(\alpha)$  とする.  $S(\alpha)$  を求めよ.

[解] 関数を

$$f(x) = (\log x)^2 (x > 0)$$

とおく.

(1) 一階, 二階微分は

$$f'(x) = 2 \frac{\log x}{x} \quad (1)$$

$$f''(x) = 2 \frac{1 - \log x}{x^2} \quad (2)$$

であるから, 増減表は table 1 となる.

表 1:  $f(x)$  の増減表

$x$	0	...	1	...	$e$	...	$\infty$
$f'$		-	0	+	+	+	
$f''$		+	+	+	0	-	
$f$	$(-\infty)$	$\searrow$	0	$\nearrow$	1	$\nearrow$	$(\infty)$

従って, グラフの概形は fig. 1 となる.

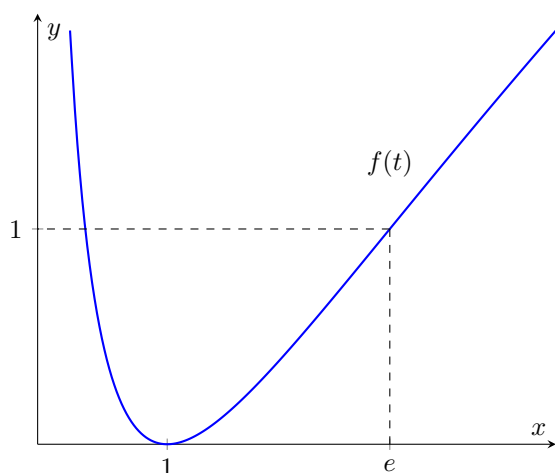


図 1:  $f(x)$  の概形.  $x = e$  が変曲点となる.

... (答)

(2)  $P(\alpha, f(\alpha))$  での接線  $L(\alpha)$  は, eq. (1) から

$$\begin{aligned} y &= l(x) \\ &= f'(x)(x - \alpha) + f(\alpha) \\ &= 2 \frac{\log \alpha}{\alpha} (x - \alpha) + f(\alpha) \end{aligned}$$

であるから,  $L(\alpha)$  と  $C$  の共有点の個数は

$$l(x) = f(x)$$

$$(\log x)^2 - (\log \alpha)^2 - 2 \frac{\log \alpha}{\alpha} (x - \alpha) = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

の  $x > 0$  の解の個数にひとしい. ① の左辺を  $g(x)$  とおく:

$$g(x) = (\log x)^2 - (\log \alpha)^2 - 2 \frac{\log \alpha}{\alpha} (x - \alpha)$$

$g(x)$  の一階微分は

$$g'(x) = 2 \left( \frac{\log x}{x} - \frac{\log \alpha}{\alpha} \right)$$

であるから, この符号は

$$h(x) = \frac{\log x}{x}$$

の挙動による. eq. (1) より  $h(x) = f'(x)/2$  だから,

$$h'(x) = \frac{f''(x)}{2}$$

であり,  $h(x)$  の増減表は table 2 となる.

表 2:  $h(x)$  の増減表

$x$	0	...	$e$	...	$\infty$
$h'$		+	0	-	
$f$	$(-\infty)$	$\nearrow$	1	$\searrow$	(0)

従ってグラフの概形は fig. 2 となる.

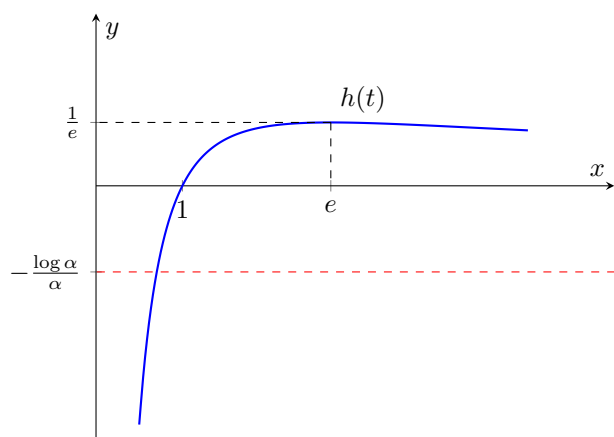


図 2:  $h(x)$  の概形.  $x = e$  で最大値をとり,  $\alpha$  の値によって  $g'(x)$  の零点の数が増える.

以下  $\alpha$  の値によって場合わけする.

### 0.1 $0 < \alpha \leq 1$ の時

$g'(x) = 0$  となる  $x$  は  $x = \alpha$  ただ一つである.  $x < \alpha$  では  $g'(x) < 0$ ,  $\alpha < x$  では  $g'(x) > 0$  である. また,  $g(x)$  の極限値は

$$\lim_{x \rightarrow 0} g(x) = \infty$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \infty$$

である. 従って  $g(x)$  の増減表は table 3 のようになる.

表 3:  $g(x)$  の増減表

$x$	0	$\dots$	$\alpha$	$\dots$	$\infty$
$g'$		$-$	0	$+$	
$g$	$(\infty)$	$\searrow$	0	$\nearrow$	$(\infty)$

従って,  $g(x) = 0$  の解の数は  $x = \alpha$  ただ一つ.

### 0.2 $\alpha = e$ の時

$g'(x) = 0$  となる  $x$  は  $x = \alpha$  ただ一つである. それ以外のとき,  $g'(x) < 0$  である. また,  $g(x)$  の極限値は

$$\lim_{x \rightarrow 0} g(x) = \infty$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = -\infty$$

である. 従って  $g(x)$  の増減表は table 4 のようになる.

表 4:  $g(x)$  の増減表

$x$	0	$\dots$	$\alpha$	$\dots$	$\infty$
$g'$		$-$	0	$-$	
$g$	$(\infty)$	$\searrow$	0	$\nearrow$	$(-\infty)$

よって,  $g(x) = 0$  の解の数は  $x = \alpha$  ただ一つ.

### 0.3 $1 < \alpha, \alpha \neq e$ の時

この時は  $x = \alpha$  以外にもう一つ  $g'(x) = 0$  となる  $x$  がある. これを  $x = \beta$  とする. また,  $g(x)$  の極限値は

$$\lim_{x \rightarrow 0} g(x) = \infty$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = -\infty$$

である. よって  $g(x)$  の増減表は table 5 となる.

表 5:  $h(x)$  の増減表

$x$	0	$\dots$	$\alpha$	$\dots$	$\beta$	$\dots$	$\infty$
$g'$		$-$	0	$+$	0	$-$	
$g$	$(\infty)$	$\searrow$	0	$\nearrow$		$\searrow$	$(-\infty)$

従って,  $g(x) = 0$  の解の数は二つである.

以上三つの場合わけにより全ての場合は尽くされた. 従って求める共有点の個数は

$$\begin{cases} 0 < \alpha \leq 1, \alpha = e & \dots 1 \text{ つ} \\ 1 < \alpha (\alpha \neq e) & \dots 2 \text{ つ} \end{cases}$$

である. ... (答)

(3)  $P$  から  $x$  軸に下ろした垂足  $Q(\alpha, 0)$ ,  $L(a)$  と  $x$  軸の交点  $R$ , また  $T(1, 0)$  とおく. すると  $R$  の  $x$  座標は

$$2 \frac{\log \alpha}{\alpha} (x - \alpha) + (\log \alpha)^2 = 0$$

$$x = \alpha - \frac{\alpha}{2} \log \alpha$$

となる. 題意の領域の概形は fig. 3 のようになる.

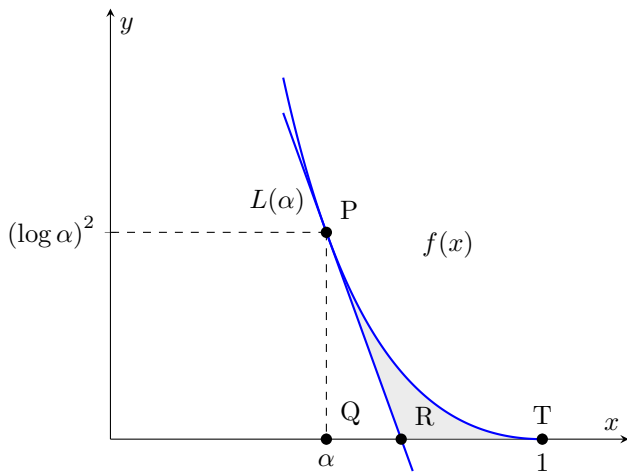


図 3: 求める面積の概形

求める面積  $S(\alpha)$  は、図形  $PQT$  の面積  $A(\alpha)$  から、三角形  $PQR$  の面積  $B(\alpha)$  を減じたものに等しい。すなわち

$$S(\alpha) = A(\alpha) - B(\alpha) \quad (3)$$

まず、 $\triangle PQR$  について、

$$\begin{aligned} |QR| &= \alpha - \frac{1}{2}\alpha \log \alpha - \alpha \\ &= -\frac{1}{2}\alpha \log \alpha \end{aligned}$$

および

$$|PQ| = (\log \alpha)^2$$

だから、

$$\begin{aligned} B(\alpha) &= \frac{1}{2}|QR||PQ| \\ &= \frac{-1}{4}\alpha (\log \alpha)^3 \end{aligned} \quad (4)$$

である。次に  $A(\alpha)$  は部分積分法を繰り返し用いて

$$\begin{aligned} A(\alpha) &= \int_{\alpha}^1 (\log x)^2 dx \\ &= [x(\log x)^2 - 2x \log x + 2x]_{\alpha}^1 \\ &= (0 - 0 + 2) - (\alpha(\log \alpha)^2 - 2\alpha \log \alpha + 2\alpha) \\ &= 2 - \alpha(\log \alpha)^2 + 2\alpha \log \alpha - 2\alpha \end{aligned} \quad (5)$$

だから、eqs. (4) and (5) を eq. (3) に代入して

$$S(\alpha) = 2 - \alpha(\log \alpha)^2 + 2\alpha \log \alpha - 2\alpha + \frac{1}{4}\alpha(\log \alpha)^3$$

が求める面積である。…(答)